ウイルス感染・サイバー攻撃に対する準備出来ていますか？

◆最近の傾向

昨年後半より、Emotet（※1）によるウイルス感染やSQLインジェクション(※2）などによるサイバー攻撃、社員による機密情報持出しなどさまざまな手口による、情報漏えい被害報告がマスコミでも多く取り上げられる中、当社代理店の皆さまからも同様の報告をいただくことが増えてきました。
ウイルス感染やサイバー攻撃などの被害を受ける事で、お客さまの大切な情報が流出し、情報を悪用されたり、損害を与えたりすることで、ご迷惑をおかけする可能性があります。また、被害を受けると同時にウイルスの感染拡大や情報漏えいの加害者となる可能性がある事を十分に認識したうえで、万一の被害リスクを抑え・拡大させないためにも、常日頃よりサイバーセキュリティを意識し対応しておく必要があります。

※1 攻撃メールは、過去に受信者がメール交換した方になりすまし（氏名・メールアドレス・メール内容等を流用）て、正規メールの返信を装う事で、ウイルス添付ファイルを開封させる仕組みとなっている。
※2 セキュリティ対策が不十分なウェブサイト上の画面で、不正な内容を組み込んだプログラム命令（SQL文）を入力し、命令を実行してシステムを攻撃する。

◆標的型メールによるウイルス感染などのサイバー攻撃を受けないためには・・・・

当社の「代理店顧客情報取扱マニュアル」では、顧客情報漏えい防止のポイント（「標的型メールに注意しましょう」）として、不審なメールを受信した場合は、添付ファイルやURLを、絶対にクリックせず、メールを削除していただくよう記載しています。
また、不審メールを見分ける際に、ご注意いただきたいポイント（「【注意を要するメール】」）についても記載していますので、今一度の再確認のうえ業務を行う際には、ご留意いただくようにお願いします。
万一、ウイルス感染やサイバー攻撃による情報漏えいの可能性が判明した際には、被害を拡大させない為にも速やかに当社（担当営業店）へご連絡をお願いします。

◆対応策の確認

経済産業省所管の政策実施機関である独立行政法人情報処理推進機構（IPA）では、簡単なサイバーセキュリティ対策として少なくとも次の五つのポイントを意識して対応をしておく必要があるとしています。

1. OSやソフトは最新の状態にする ⇒ システム不具合（セキュリテイ・ホール）の解消
2. ウイルス対策ソフトを導入し最新状態にする ⇒ ウイルス定義体の最新化
3. パスワードを強化 ⇒ 長く複雑で使い回しをしない。
4. 共有設定を見直す ⇒ 本当に情報を必要とする方にアクセス権を絞る
5. 脅威や攻撃の手口を知って社内共有する。 ⇒ 正しい判断と感染拡大の予防

今一度、情報セキュリティについて代理店内での身近な部分からご確認をお願いします。

ウイルス感染・サイバー攻撃に対する準備出来ていますか？

◆サイバー攻撃研修映像教材のご紹介　～ IPAにおける映像教材のご紹介　～

IPAのサイトでは、サイバー攻撃をはじめ情報セキュリティ全般に関する様々な脅威と対策について、分かりやすくドラマ仕立てにした映像教材が紹介されています。※YouTube内の「IPA Channel」にて公開。

それぞれのストーリーは異なるテーマで1話10分程度で視聴可能となっていますので、代理店内での情報セキュリティ研修ならびに募集人個人でのご確認などにご活用いただければと思います。
その中から、サイバー攻撃や情報セキュリティに関連するコンテンツをピックアップしてご紹介させていただきますので、必要に応じてご視聴願います。

IPA（情報処理推進機構）サイト ： https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/index.html

	タイトル	概要	再生時間
1	そのメール本当に信用してもいいんですか？ ～標的型サイバー攻撃メールの手口と対策～	企業内の標的型攻撃メールの訓練を舞台に、ウイルスが含まれている添付ファイルを開かせる標的型標的型サイバー攻撃メールの手口を示し、その対策を説明しています。	約10分
2	デモで知る！　標的型攻撃によるパソコン乗っ取りの脅威と対策！	標的型攻撃によるパソコンの乗っ取りについて、その手口や脅威をデモを通じて説明すると共に、被害に遭わないための対策を説明しています。	約7分
3	あなたの組織が狙われている！ ～標的型攻撃 その脅威と対策～	標的型攻撃メールをうっかり開いてしまい、情報漏えい事件を起こしてしまった主人公の会社員。ナビゲーターの解説を通じて、標的型攻撃の実態と対策について学べます。	約10分
4	3つの かばん ～新入社員が知るべき情報漏えいの脅威～	情報セキュリティ研修で机上に並べられた3つのかばんを開くたびに、主人公は組織には守るべき重要な情報があることをまざまざと知ることとになります。情報セキュリテイの必要性を知るうえで最初に見ていただきたいドラマです。	約11分
5	情報を漏らしたのは誰だ？ ～内部不正と情報漏えい対策～	顧客リスト漏えいの疑いをかけられた営業部の主人公。同期のシステム部員と漏えいの可能性を一つずつ洗い出していく。浮かび上がってきたのは内部不正による漏えいの可能性・・・。ドラマを通じ情報漏えいの基本的な対応を学べます。	約11分
6	ウイルスは、あなたのビジネスもプライベートも狙っている！	ウイルスの中にはパソコン利用者に気づかれないように密かに情報の抜き取りや乗っ取りやWebカメラによる盗撮を行うものがあります。ドラマでは本映像を通じて攻撃者の狙いを知り、被害に遭わないための対策を理解する事が出来ます。	約10分